

新型コロナウイルス感染症検査体制の強化

～ 春日井保健所・春日井市民病院が一体となった体制の構築 ～

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の感染が急速に広がる中で、症状がある人には、いち早く検査を実施して結果を確定させ、治療や軽症者宿泊施設への入所措置などの対応を迅速に行うとともに、濃厚接触者についても早急に検査を実施し感染拡大防止につなげ、安心感を高めることが重要です。

市では市民病院の現行の設備を有効に活用して、春日井保健所と連携しながら検査を実施し、感染症の拡大防止を図ります。また、10月にPCR検査機器を購入し、さらに検査体制を整えます。

2 実施内容

市民病院において、感染が疑われる症状のある人の診療・検査に加え、春日井保健所が濃厚接触者と判断した一部の人の検体を検査します。

これまで春日井保健所で採取した検体は、県衛生研究所で全て検査していましたが、市民病院でも検査を請負うことで県の検査体制を支援します。

3 実施体制

別紙 1

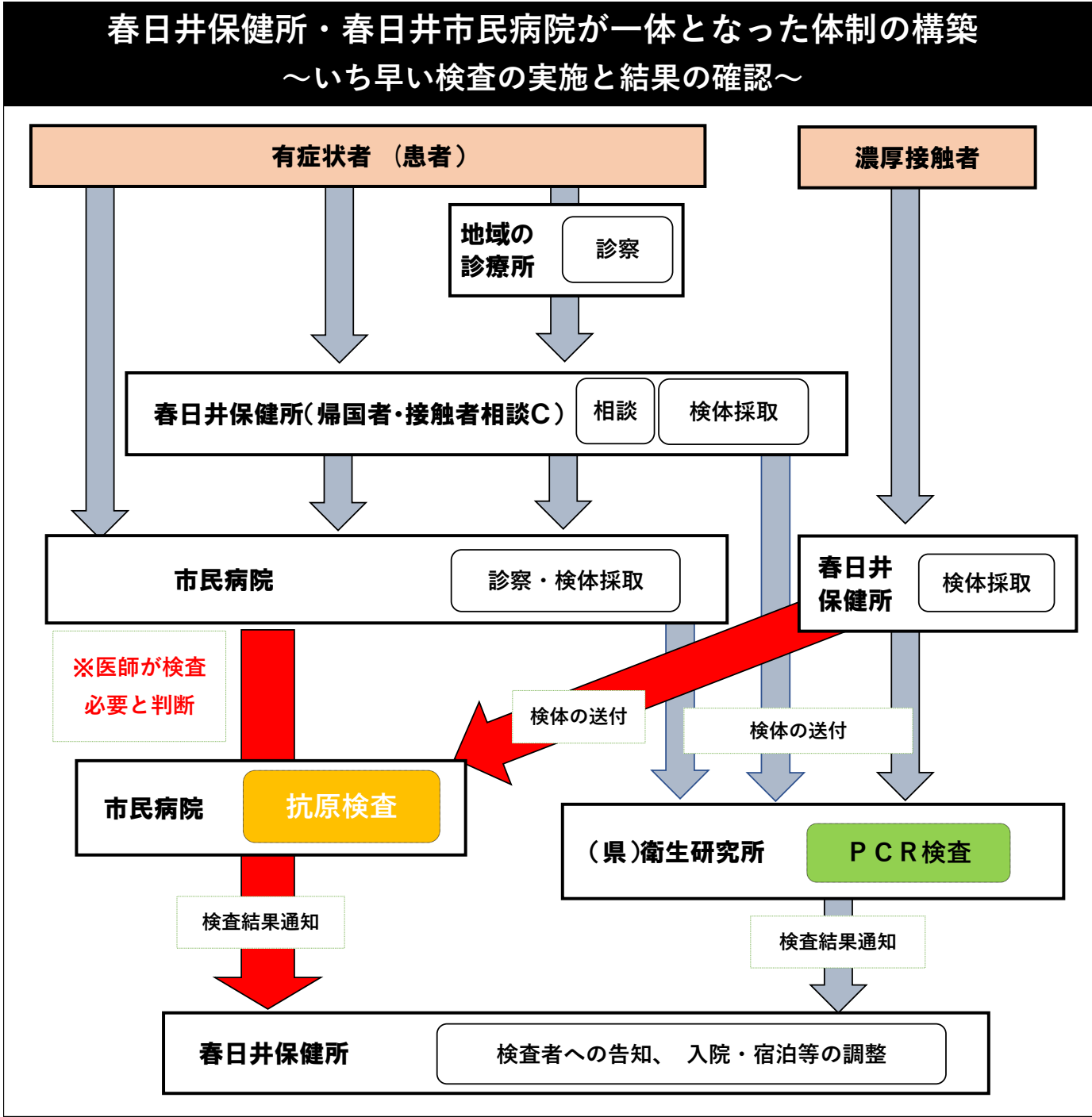
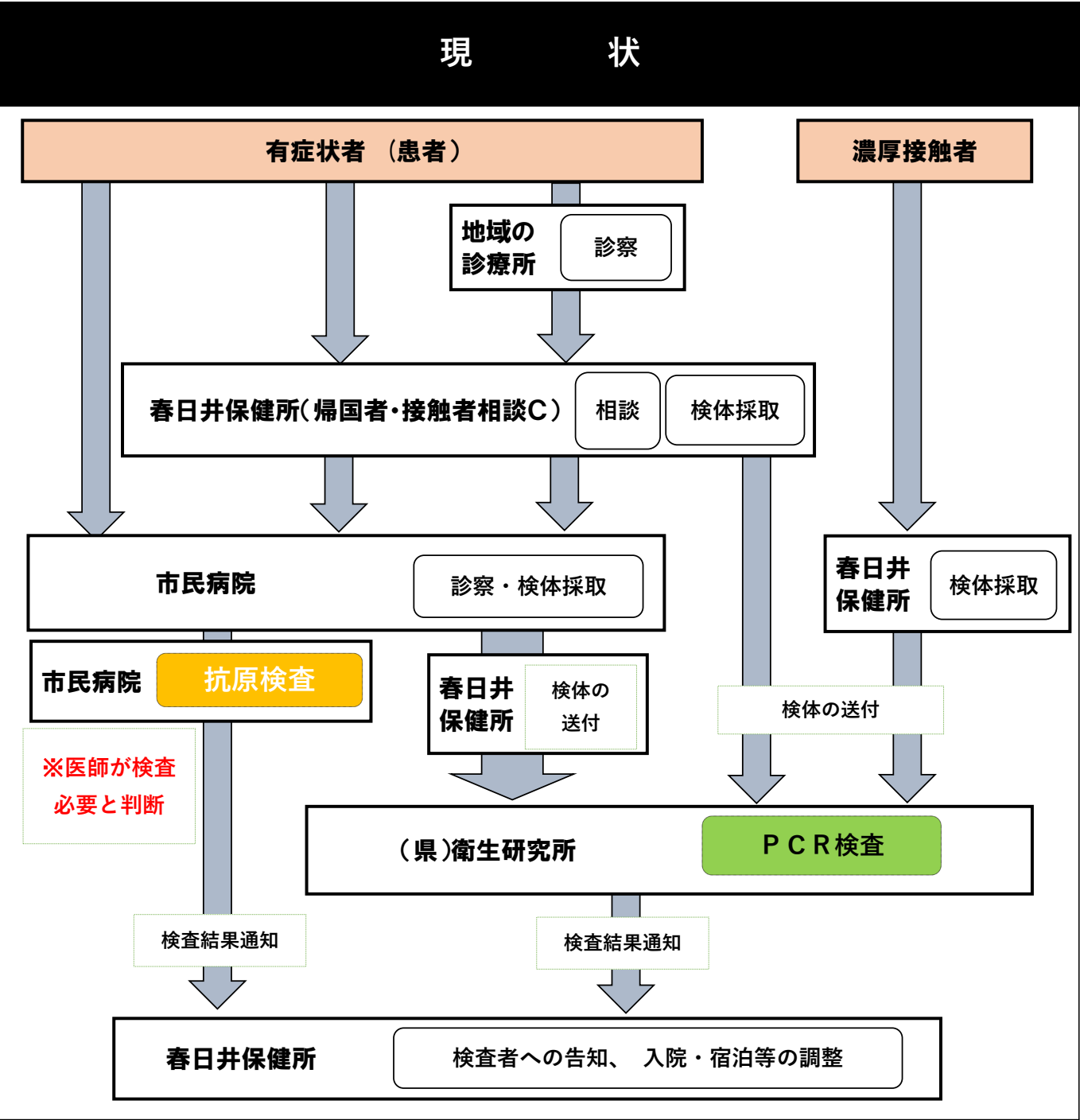
4 購入機器

別紙 2

新型コロナウイルス感染症検査体制の強化について

別紙 1

資料番号1



対 象 者	設 備	効 果
感染が疑われる 有症状者（患者）	■ 現行の機器は抗原検査	■ 速やかな治療、措置につながる
濃厚接触者	■ 10月に P C R 検査機器を導入	■ 迅速な感染拡大防止につながる

購入機器

○遺伝子解析装置（新型コロナウイルスPCR検査装置）

専用の新型コロナウイルス用遺伝子検出試薬を用いて、
遺伝子検出に必要な工程を全自動で行う機器。

検出時間は約 75 分。



○バイオハザード対策用キャビネット（安全キャビネット）

検体を処理する際にウイルスが外に漏れないよう作業
空間を陰圧に保ち、排気をHEPAフィルターでろ過する
装置



○その他、冷却遠心機（遠心分離機）、超低温フリーザーなど